

令和元年度
建設機械中古車流通量調査
報告書(2019年度版)

令和2年11月
一般社団法人 日本建設機械工業会

目次

1.用語の解説	1
2.我が国の建設機械市場	2
(1)市場規模	2
(2)在籍(稼働)台数	3
3.中古車流通量の実態	4
(1)中古車発生台数	4
(2)中古車需要台数(国内需要+海外需要)	4
(3)中古車発生比率(中古車発生台数/新車販売台数)	5
(4)輸出状況	6
4.中古車の流通経路と市場特性	14
(参考)調査シート	21

【調査の概要】

対象となる機械を製造している会員メーカー22社と関係者からのヒアリングによって作成。また、それ以外の統計等については、それぞれの出典を参照。

1.用語の解説

建設機械	報告書で取り上げた建設機械とは、下記の主要8機種をいう。
①油圧ショベル	掘削機械で総重量6t以上のもの。
②ミニショベル	掘削機械で総重量6t未満のもの。
③ホイールローダ	四輪駆動式トラクタショベル(ホイールローダ)。但し、スキッドステア、フォークリフトタイプは除く。
④クローラクレーン	覆帯式車体がベースのクレーン。3点式PD、オーガを含む。但し、吊り上げ荷重5t未満の油圧ショベルをベースにしたものは除く。
⑤ラフテレーンクレーン	不整地走行型油圧式クレーン。
⑥トラッククレーン	トラック車体をベースの油圧式クレーンで、吊り上げ荷重3t以上のもの。オールテレーンクレーンを含む。
⑦締固機械	搭乗型のものでハンドガイド式ローラは除く。(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)
⑧高所作業車	作業床が上昇・下降等する設備を有する自走可能な車輛。但し、作業床4m以上のもの。
中古車	中古建設機械。
メーカー	メーカー及び系列販売店(特約店等は除く)。
中古車販売店	建設機械中古車を取り扱う、次の会社。
サブディーラ	メーカー(一次)以外の販売店。
修理工場	修理業を主体とするが、一部、新車・中古車を販売する会社。
中古車専門店	新車販売を行わず、中古車のみ取り扱っている会社。
中古車輸出専門店	中古車専門店の中でも輸出を専門に行っている会社。
レンタル会社	リース・レンタル会社。
エンドユーザ	レンタル会社以外の一般ユーザ。
国内ユーザ	エンドユーザとレンタル会社。
在籍台数	ユーザの保有台数。

※2013年度末分をもって、クローラトラクタの調査を終了。

2.我が国の建設機械市場

中古車流通について述べる前に、参考までに我が国の建設機械の「市場規模」と「在庫(稼働)台数」についてまとめてみると下表の通りである。

(1)市場規模

表2-1 新車建設機械国内出荷実績推移

	2000年度		2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度	
	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)
トラクタ	916 (102.9%)	12.1%	876 (95.6%)	14.8%	636 (72.6%)	12.6%	674 (106.0%)	11.8%	735 (109.1%)	12.2%	799 (108.7%)	12.2%	912 (114.1%)	12.3%	868 (95.2%)	11.0%	881 (101.4%)	11.4%	496 (57.1%)	13.5%
掘削機械	3,445 (99.5%)	43.5%	2,513 (72.9%)	42.5%	2,102 (83.6%)	41.8%	2,493 (118.6%)	43.6%	2,786 (111.8%)	46.3%	3,086 (110.8%)	47.0%	3,535 (114.5%)	47.6%	3,751 (106.1%)	47.5%	2,466 (65.7%)	41.1%	1,304 (34.8%)	35.4%
建設用クレーン	1,141 (93.8%)	15.1%	885 (77.6%)	15.0%	757 (85.5%)	15.0%	887 (117.2%)	15.5%	1,003 (113.1%)	16.7%	1,222 (121.8%)	18.6%	1,463 (119.7%)	19.7%	1,701 (116.3%)	21.6%	1,511 (88.8%)	25.2%	837 (49.2%)	22.8%
道路機械	398 (101.5%)	5.3%	352 (88.4%)	6.0%	325 (92.3%)	6.5%	344 (105.8%)	6.0%	333 (96.8%)	5.5%	284 (85.3%)	4.3%	290 (101.7%)	3.9%	295 (101.7%)	3.7%	235 (79.7%)	3.9%	183 (62.0%)	5.0%
コンクリート機械	326 (106.2%)	4.3%	248 (76.1%)	4.2%	203 (81.9%)	4.0%	240 (118.2%)	4.2%	213 (88.8%)	3.5%	213 (100.0%)	3.2%	215 (100.9%)	2.9%	230 (107.0%)	2.9%	159 (69.1%)	2.7%	139 (60.4%)	3.8%
トンネル機械	382 (95.0%)	5.1%	285 (74.6%)	4.8%	316 (110.9%)	6.3%	349 (110.4%)	6.1%	206 (59.0%)	3.4%	177 (85.9%)	2.7%	141 (79.7%)	1.9%	77 (54.6%)	1.0%	123 (159.7%)	2.1%	148 (192.2%)	4.0%
基礎機械	180 (90.5%)	2.4%	143 (79.4%)	2.4%	143 (100.0%)	2.8%	140 (97.9%)	2.5%	132 (94.3%)	2.2%	155 (117.4%)	2.4%	181 (116.8%)	2.4%	248 (137.0%)	3.1%	229 (92.3%)	3.8%	189 (76.2%)	5.1%
油圧ブローカ	156 (101.3%)	2.1%	138 (88.5%)	2.3%	118 (85.5%)	2.3%	131 (111.0%)	2.3%	134 (102.3%)	2.2%	148 (110.4%)	2.3%	159 (107.4%)	2.1%	165 (103.8%)	2.1%	117 (70.9%)	2.0%	63 (38.2%)	1.7%
その他建設機械	785 (125.8%)	10.1%	604 (79.0%)	10.2%	551 (91.2%)	10.9%	587 (106.5%)	10.3%	600 (102.2%)	10.0%	624 (104.0%)	9.5%	692 (110.9%)	9.3%	721 (104.2%)	9.1%	596 (82.7%)	9.9%	383 (53.1%)	10.4%
合計	7,563 (99.0%)	100.0%	5,906 (78.2%)	100.0%	5,033 (85.2%)	100.0%	5,714 (113.5%)	100.0%	6,008 (105.1%)	100.0%	6,560 (109.2%)	100.0%	7,429 (113.2%)	100.0%	7,891 (106.2%)	100.0%	6,000 (76.0%)	100.0%	3,679 (46.6%)	100.0%

	2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)	金額 (%)	(%)
トラクタ	554 (111.7%)	13.2%	672 (121.3%)	11.9%	922 (137.2%)	13.6%	1,146 (124.3%)	12.8%	1,125 (98.2%)	12.9%	1,207 (107.3%)	13.7%	1,137 (101.1%)	13.1%	1,098 (96.6%)	12.7%	1,218 (107.1%)	13.9%	1,210 (99.3%)	13.5%
掘削機械	1,804 (138.3%)	42.9%	2,546 (141.1%)	45.1%	3,266 (128.3%)	48.1%	4,436 (135.8%)	49.5%	3,895 (87.8%)	44.5%	3,605 (92.6%)	41.0%	3,302 (84.8%)	38.1%	3,540 (107.2%)	40.9%	3,601 (109.1%)	41.2%	3,685 (102.3%)	41.1%
建設用クレーン	831 (99.3%)	19.7%	1,066 (128.3%)	18.9%	1,233 (115.7%)	18.2%	1,645 (133.4%)	18.4%	1,882 (114.4%)	21.5%	2,047 (108.8%)	23.3%	2,139 (113.7%)	24.7%	1,981 (92.6%)	22.9%	1,914 (89.5%)	21.9%	1,986 (103.8%)	22.2%
道路機械	236 (129.0%)	5.6%	265 (112.3%)	4.7%	329 (124.2%)	4.8%	388 (117.9%)	4.3%	395 (101.8%)	4.5%	401 (101.5%)	4.6%	364 (92.2%)	4.2%	387 (106.3%)	4.5%	357 (98.1%)	4.1%	402 (112.6%)	4.5%
コンクリート機械	109 (78.4%)	2.6%	149 (136.7%)	2.6%	176 (118.1%)	2.6%	265 (150.6%)	3.0%	289 (109.1%)	3.3%	303 (104.8%)	3.4%	294 (101.7%)	3.4%	292 (99.3%)	3.4%	283 (96.3%)	3.2%	309 (109.2%)	3.5%
トンネル機械	59 (39.9%)	1.4%	65 (110.2%)	1.2%	26 (40.0%)	0.4%	25 (96.2%)	0.3%	27 (108.0%)	0.3%	34 (125.9%)	0.4%	165 (61.1%)	1.9%	112 (67.9%)	1.3%	10 (6.1%)	0.1%	7 (70.0%)	0.1%
基礎機械	178 (94.2%)	4.2%	188 (105.6%)	3.3%	221 (117.6%)	3.3%	302 (136.7%)	3.4%	323 (107.0%)	3.7%	351 (108.7%)	4.0%	390 (120.7%)	4.5%	391 (100.3%)	4.5%	434 (111.3%)	5.0%	409 (94.2%)	4.6%
油圧ブローカ	82 (130.2%)	1.9%	129 (157.3%)	2.3%	135 (104.7%)	2.0%	162 (120.0%)	1.8%	185 (114.2%)	2.1%	181 (97.8%)	2.1%	189 (102.2%)	2.2%	199 (105.3%)	2.3%	205 (108.5%)	2.3%	206 (100.5%)	2.3%
その他建設機械	356 (93.0%)	8.5%	564 (158.4%)	10.0%	477 (84.6%)	7.0%	585 (122.6%)	6.5%	629 (107.5%)	7.2%	672 (106.8%)	7.6%	685 (108.8%)	7.9%	646 (94.3%)	7.5%	719 (105.0%)	8.2%	742 (103.2%)	8.3%
合計	4,209 (114.4%)	100.0%	5,644 (134.1%)	100.0%	6,785 (120.2%)	100.0%	8,954 (132.0%)	100.0%	8,750 (97.7%)	100.0%	8,801 (100.6%)	100.0%	8,665 (98.5%)	100.0%	8,646 (99.8%)	100.0%	8,741 (100.9%)	100.0%	8,956 (102.5%)	100.0%

(出所:建機工統計)

(2)在籍(稼働)台数

表2-2 建設機械の在籍(稼働)台数

在籍台数	合計	掘削機械			ホイールローダ	クレーン		トラッククレーン	搭乗式ローラ	高所作業車
		2002年度=100	油圧シヨベル	ミニシヨベル		クローラクレーン	ラフテレーンクレーン			
2002年度末	820,700	100	350,500	291,500	138,900	9,300	30,500	9,300	40,700	76,900
2003年度末	769,900	94	311,300	275,100	140,800	9,500	33,200	11,300	45,400	71,900
2004年度末	754,100	92	298,200	267,000	149,200	10,500	29,200	10,000	48,400	72,400
2005年度末	756,600	92	295,200	272,200	149,200	7,200	32,800	9,800	39,300	76,900
2006年度末	757,400	92	282,500	283,200	152,100	6,700	32,900	9,400	45,200	72,000
2007年度末	757,700	92	290,800	288,800	137,200	7,500	33,400	9,500	42,900	81,800
2008年度末	762,100	93	280,500	312,000	134,300	6,300	29,000	8,500	45,500	82,900
2009年度末	643,700	78	233,500	249,700	125,000	5,500	30,000	7,000	42,600	118,400
2010年度末	626,900	76	226,400	244,200	123,600	5,100	27,600	6,700	32,200	118,900
2011年度末	661,400	81	249,000	252,400	124,800	7,800	27,400	6,700	36,100	119,300
2012年度末	683,800	83	256,700	263,800	128,200	7,600	27,500	5,300	33,500	126,600
2013年度末	722,600	88	274,800	278,000	134,100	7,600	28,100	4,900	30,000	130,500
2014年度末	796,300	97	287,700	296,700	175,400	7,700	28,800	3,600	29,600	122,400
2015年度末	822,100	100	283,500	305,500	195,700	7,700	29,700	3,900	28,400	125,000
2016年度末	832,200	101	280,300	313,300	200,600	7,800	30,200	3,400	30,000	129,800
2017年度末	862,300	105	298,300	320,200	205,600	7,700	30,500	3,100	30,300	131,900
2018年度末	880,200	107	300,400	329,700	211,700	7,500	30,900	2,700	25,700	137,100
2019年度末	904,300	110	308,700	339,500	217,200	7,400	31,500	2,400	26,300	142,900

(建機工調べ)

※トラッククレーン、締固機械、高所作業車は、合計に含まない。

※2011年度末分より、油圧シヨベル、ミニシヨベルの一部調査方法を変更。それに伴い2011年度台数も変更。

※2012年度末分より、トラッククレーンの一部調査方法を変更。高所作業車の回答会社を追加。

※2013年度末分をもって、クローラトラクタの調査を終了。

※2014年度より、ホイールローダの回答会社等が増加。

※2015年度より、ミニシヨベルの在籍台数見直し及び、ミニホイールローダの見直し等により増加。

※2017年度より、油圧シヨベルの在籍台数見直しにより増加。

3.中古車流通量の実態

(1)中古車発生台数

表3-1 中古車発生台数の推移表

年度	合計	掘削機械			ホイール ローダ	クレーン	
		2000年度 =100	油圧 ショベル	ミニ ショベル		クローラ クレーン	ラフテレーン クレーン
2000年度 (H12年度)	89,315	100	45,800	30,500	10,100	730	2,185
2001年度 (H13年度)	91,055	102	46,150	31,310	10,380	1,035	2,180
2002年度 (H14年度)	99,635	112	53,540	30,980	11,940	985	2,190
2003年度 (H15年度)	105,040	118	56,750	31,370	13,390	1,270	2,260
2004年度 (H16年度)	99,980	112	49,760	30,900	15,510	1,450	2,360
2005年度 (H17年度)	109,660	123	52,060	34,230	19,500	1,370	2,500
2006年度 (H18年度)	101,950	114	53,530	31,100	13,760	1,040	2,520
2007年度 (H19年度)	115,870	130	59,910	35,790	15,680	1,270	3,220
2008年度 (H20年度)	103,660	116	53,130	31,960	14,510	1,090	2,970
2009年度 (H21年度)	80,630	90	41,170	24,390	12,330	850	1,890
2010年度 (H22年度)	74,930	84	39,430	22,040	10,950	660	1,850
2011年度 (H23年度)	59,450	67	27,390	20,070	9,590	580	1,820
2012年度 (H24年度)	62,190	70	28,380	21,420	9,900	530	1,960
2013年度 (H25年度)	65,870	74	30,480	21,380	11,660	610	1,740
2014年度 (H26年度)	56,980	64	24,600	20,340	9,520	490	2,030
2015年度 (H27年度)	72,100	81	34,540	24,650	10,570	550	1,790
2016年度 (H28年度)	68,680	77	32,570	24,020	9,450	600	2,040
2017年度 (H29年度)	69,100	77	30,720	25,840	10,330	660	1,550
2018年度 (H30年度)	64,910	73	27,630	25,550	9,440	670	1,620
2019年度 (R1年度)	55,690	62	22,580	22,000	9,270	600	1,240

(2)中古車需要台数(国内需要+海外需要)

表3-2 中古車需要台数の推移表

年度	合計	掘削機械			ホイール ローダ	クレーン	
		2000年度 =100	油圧 ショベル	ミニ ショベル		クローラ クレーン	ラフテレーン クレーン
2000年度 (H12年度)	84,940	100	43,750	28,910	9,400	705	2,175
2001年度 (H13年度)	86,375	102	44,000	29,300	9,880	1,025	2,170
2002年度 (H14年度)	96,280	113	52,410	29,330	11,290	1,010	2,240
2003年度 (H15年度)	99,655	117	54,780	28,660	12,590	1,245	2,380
2004年度 (H16年度)	96,110	113	48,550	28,690	15,050	1,450	2,370
2005年度 (H17年度)	104,800	123	50,580	31,620	18,780	1,370	2,450
2006年度 (H18年度)	97,710	115	52,050	29,100	13,020	990	2,550
2007年度 (H19年度)	110,180	130	59,100	32,050	14,780	1,180	3,070
2008年度 (H20年度)	93,400	110	48,760	27,420	13,590	910	2,720
2009年度 (H21年度)	82,040	97	43,590	23,200	12,360	930	1,960
2010年度 (H22年度)	74,780	88	39,450	21,490	11,080	730	2,030
2011年度 (H23年度)	58,660	69	26,980	19,720	9,590	590	1,780
2012年度 (H24年度)	58,820	69	26,470	20,140	9,660	540	2,010
2013年度 (H25年度)	62,620	74	30,670	18,880	10,710	590	1,770
2014年度 (H26年度)	60,950	72	27,530	20,860	10,080	490	1,990
2015年度 (H27年度)	68,220	80	31,240	23,890	10,610	590	1,890
2016年度 (H28年度)	69,130	81	32,570	24,630	9,400	600	1,930
2017年度 (H29年度)	69,410	82	31,540	25,420	10,200	640	1,610
2018年度 (H30年度)	64,080	75	26,570	25,870	9,590	630	1,420
2019年度 (R1年度)	56,420	66	23,100	22,110	9,250	610	1,350

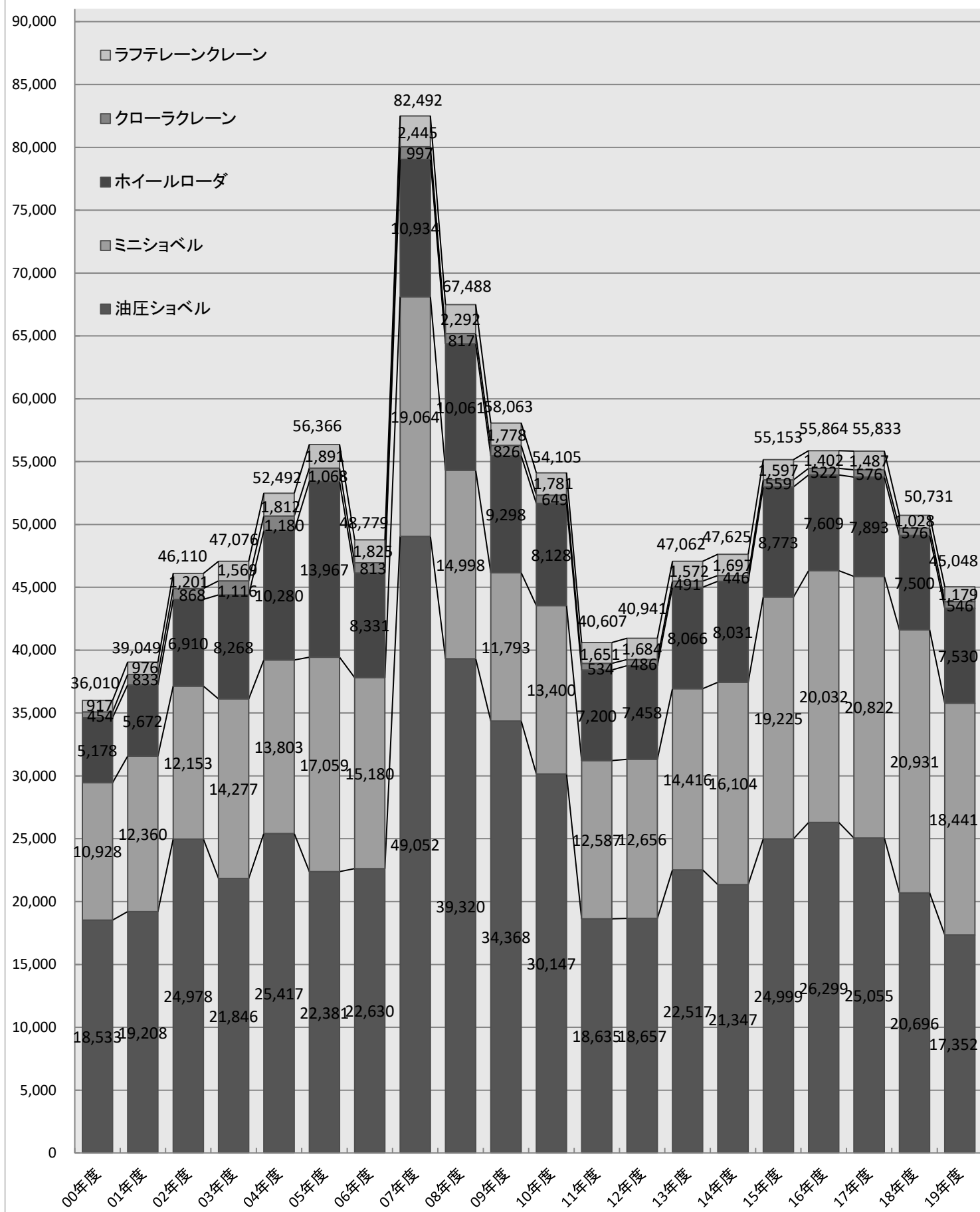
※2013年度末分をもって、クローラトラクタの調査を終了。

(3)中古車発生比率(中古車発生台数/新車販売台数)

		2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
掘削機械	①中古車発生台数	45,800	46,150	53,540	56,750	49,760	52,060	53,530	59,910	53,130	41,170	39,430	27,390	28,380	30,480	24,600	34,540	32,570	30,720	27,630	22,580
	②新車販売台数	31,900	21,720	18,310	22,615	25,520	28,150	31,430	33,000	20,380	10,270	14,330	22,660	28,290	40,460	31,300	24,100	23,090	25,040	23,850	25,120
	①/②(%)	144	213	292	251	195	185	170	182	182	261	401	275	121	100	75	79	143	141	123	116
ミニヨベル	①中古車発生台数	30,500	31,310	30,980	31,370	30,900	34,230	31,100	35,790	31,960	24,390	22,040	20,070	21,420	21,380	20,340	24,650	24,020	25,840	25,550	22,000
	②新車販売台数	28,000	22,980	19,640	21,625	24,220	25,980	28,650	28,430	17,670	11,220	14,580	19,870	25,340	31,160	34,270	35,540	27,220	28,140	30,120	28,100
	①/②(%)	109	136	158	145	128	132	109	126	181	217	151	101	85	69	59	69	88	92	85	78
ホイールローダ	①中古車発生台数	10,100	10,380	11,940	13,390	15,510	19,500	13,760	15,680	14,510	12,330	10,950	9,590	9,900	11,660	9,520	10,570	9,450	10,330	9,440	9,270
	②新車販売台数	9,300	9,300	8,110	8,270	9,790	10,260	11,720	10,090	7,270	6,390	6,670	8,440	11,140	14,880	14,600	15,490	12,560	13,030	13,450	13,000
	①/②(%)	109	112	147	162	158	190	117	155	200	193	164	114	89	78	65	68	75	79	70	71
クレーン	①中古車発生台数	730	1,035	985	1,270	1,450	1,370	1,040	1,270	1,090	850	660	560	530	610	490	550	600	660	670	600
	②新車販売台数	250	210	170	185	210	230	280	340	430	260	210	220	300	480	520	570	570	500	440	430
	①/②(%)	292	493	579	687	691	596	371	374	254	327	314	264	177	127	94	97	105	132	152	140
ラフテレーンクレーン	①中古車発生台数	2,185	2,180	2,190	2,260	2,360	2,500	2,520	3,220	2,970	1,890	1,850	1,820	1,960	1,740	2,030	1,790	2,040	1,550	1,620	1,240
	②新車販売台数	1,360	1,110	970	1,080	1,320	1,630	1,940	2,390	1,820	870	970	1,270	1,740	2,160	2,410	2,410	2,010	1,730	1,630	1,670
	①/②(%)	161	196	226	209	179	153	130	135	163	217	191	143	113	81	84	74	102	90	99	74
合計	①中古車発生台数	89,315	91,055	99,635	105,040	99,980	109,660	101,950	115,870	103,660	80,630	74,930	59,450	62,190	65,870	56,980	72,100	68,680	69,100	64,910	55,690
	②新車販売台数	70,810	55,320	47,200	53,775	61,060	66,250	74,020	74,250	47,570	29,010	36,760	52,460	66,810	89,140	83,100	78,110	65,450	68,440	69,490	66,320
	①/②(%)	126	165	211	195	164	166	138	156	218	278	204	113	93	74	69	92	105	101	93	82

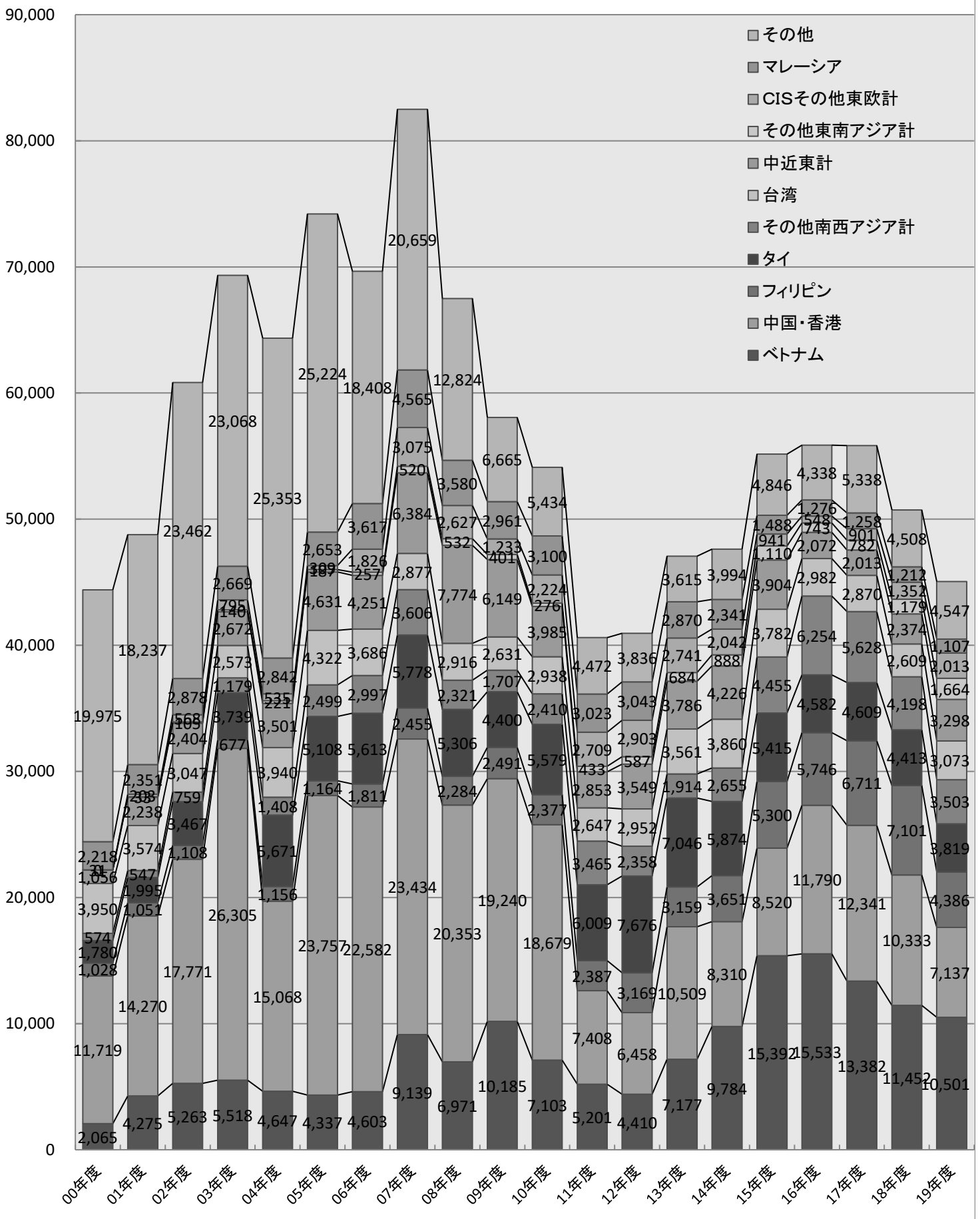
※2013年度末分をもって、クローラトラクタの調査を終了。

(4) 輸出状況 ①機種別輸出台数



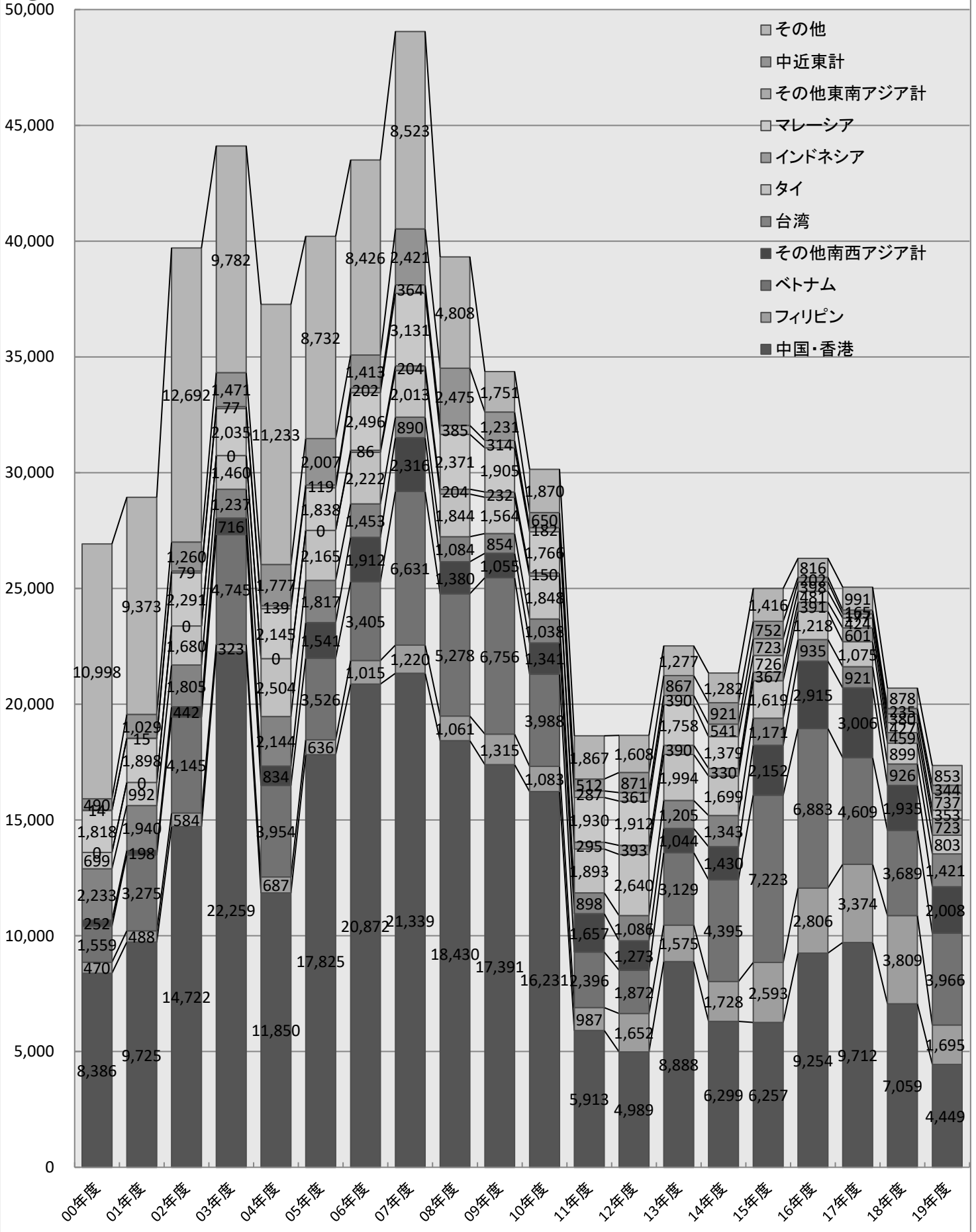
(出所: 財務省貿易統計)

②国別輸出台数(全機種)



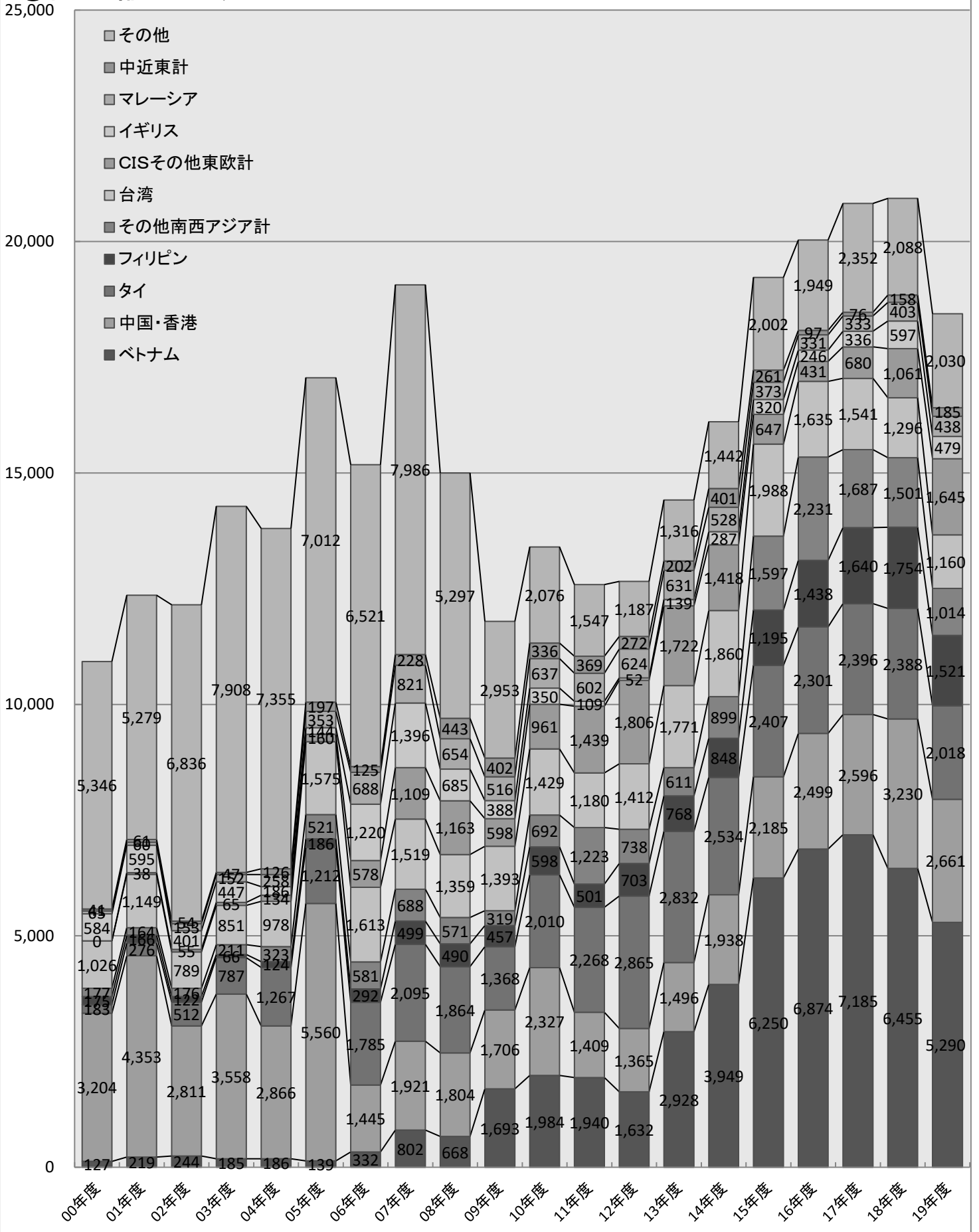
(出所:財務省貿易統計)

③国別輸出台数(油圧ショベル)



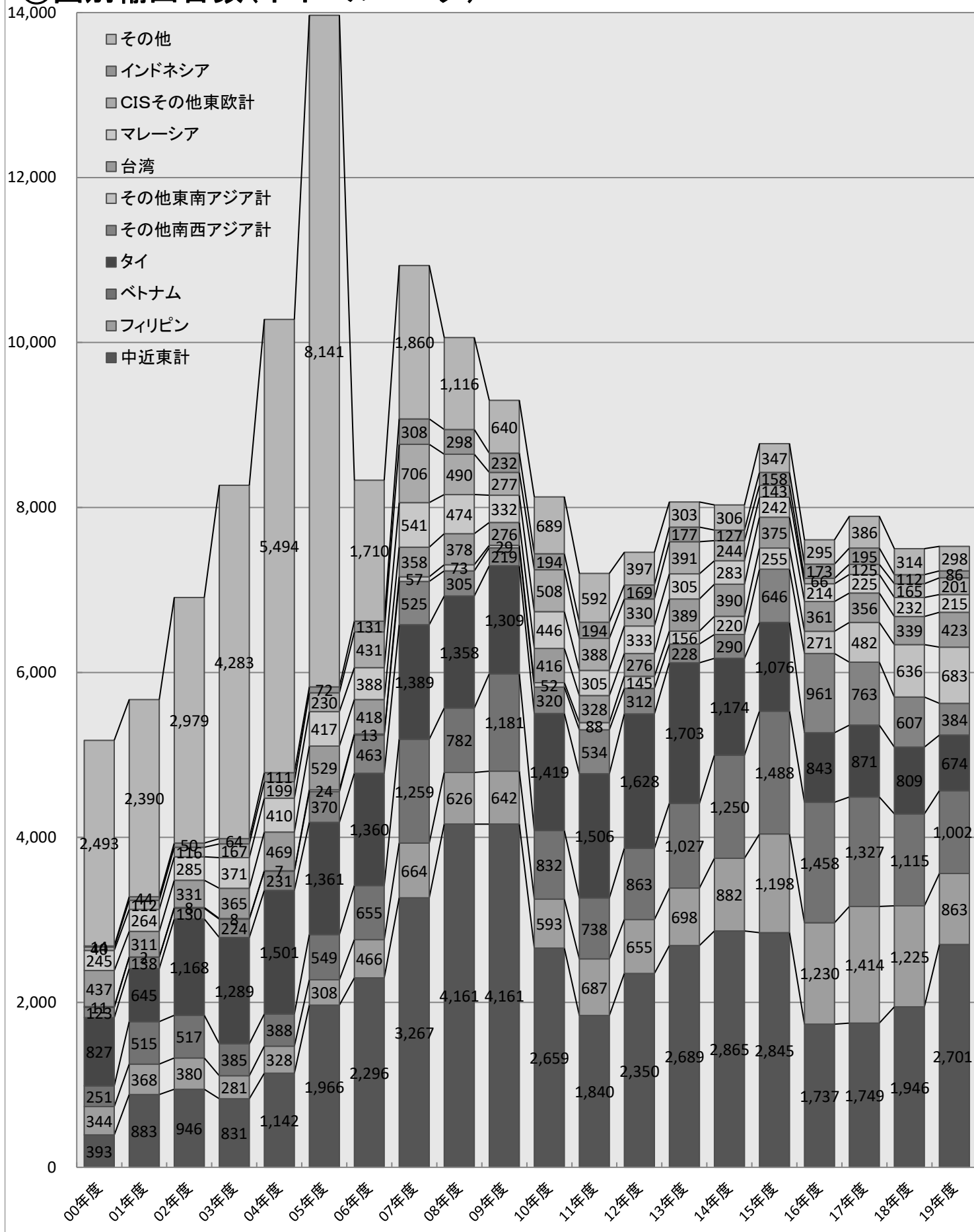
(出所:財務省貿易統計)

④国別輸出台数(ミニシヨベル)



(出所:財務省貿易統計)

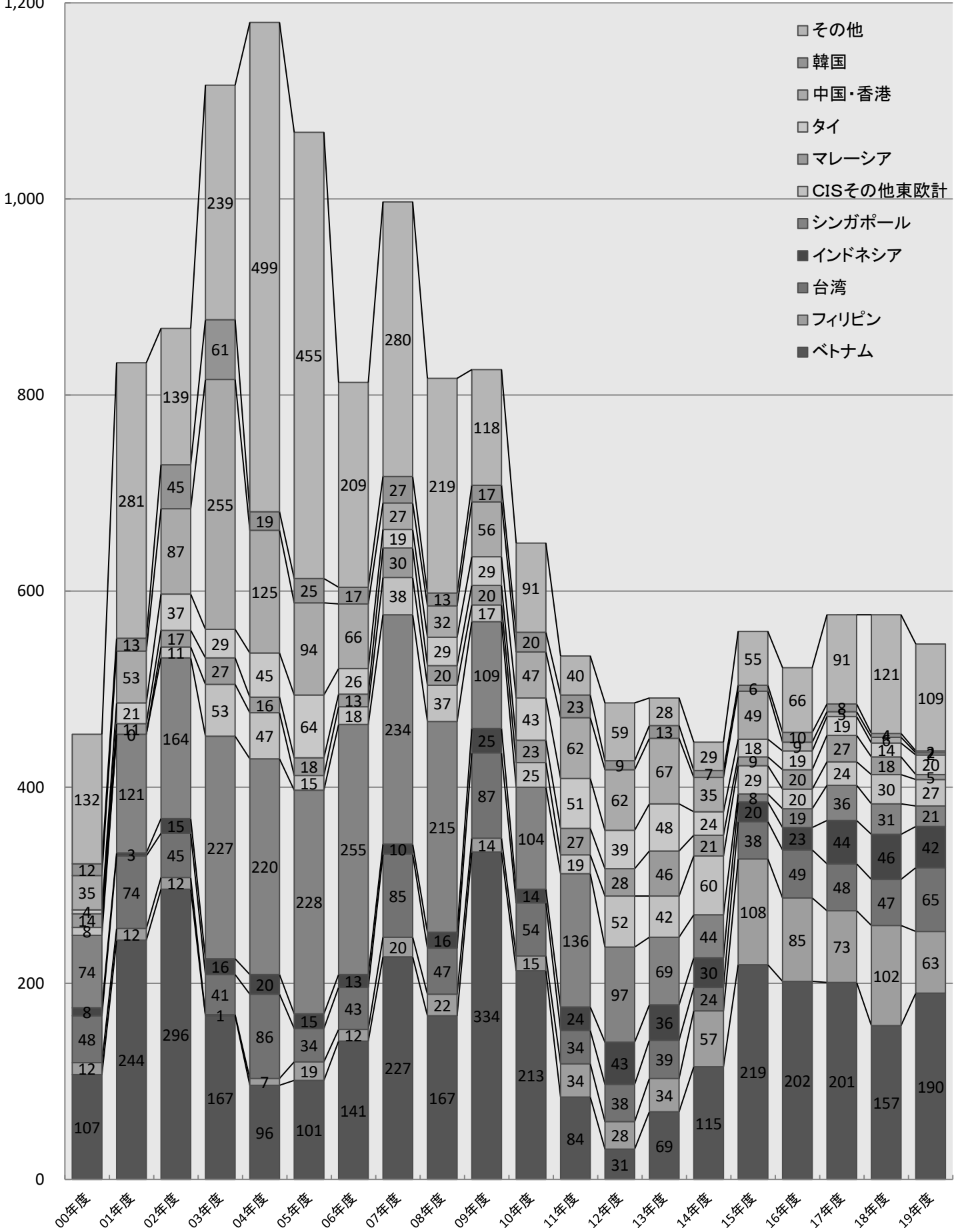
⑤国別輸出台数(ホイールローダ)



(出所:財務省貿易統計)

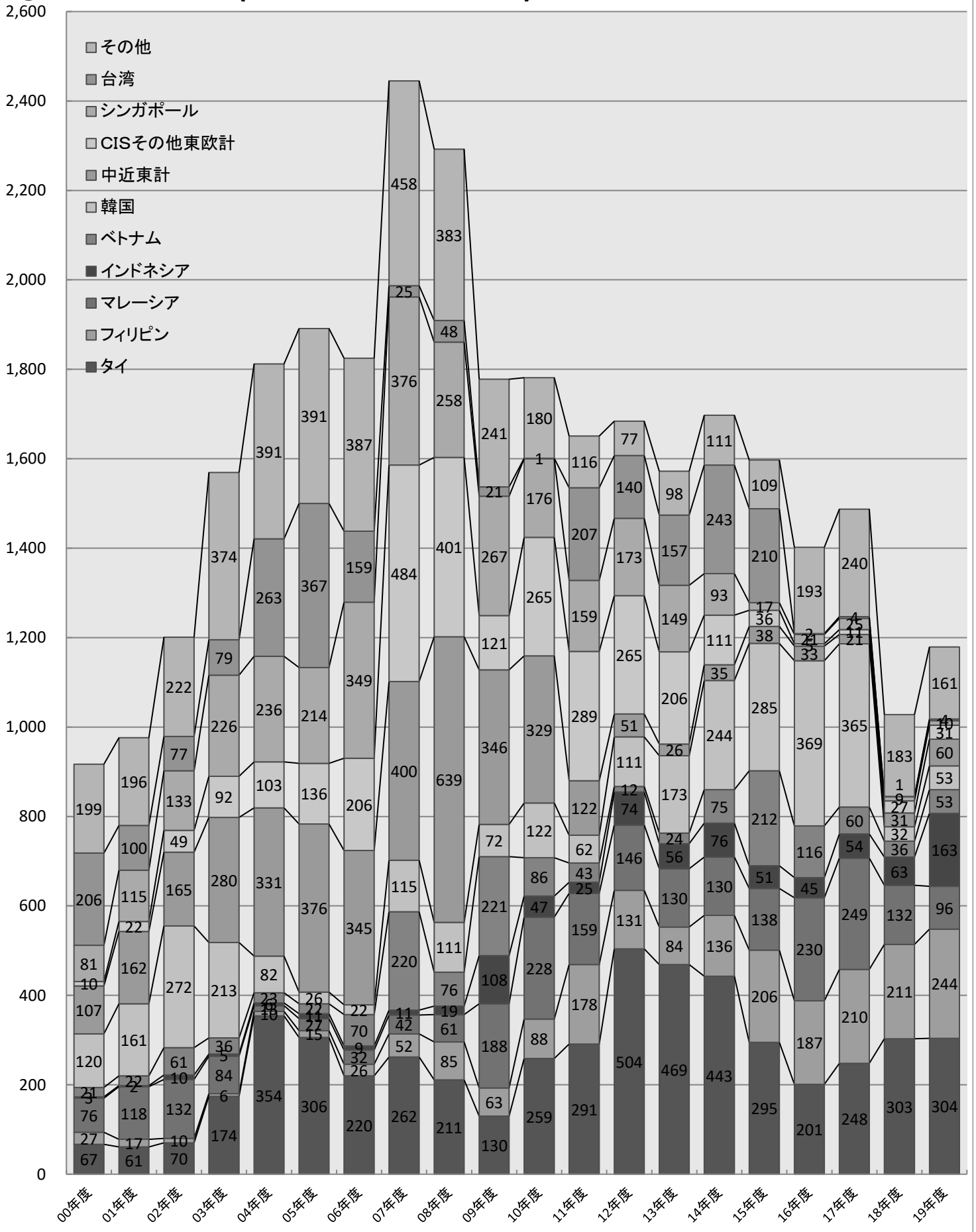
⑥国別輸出台数(クローラクレーン)

1,200



(出所:財務省貿易統計)

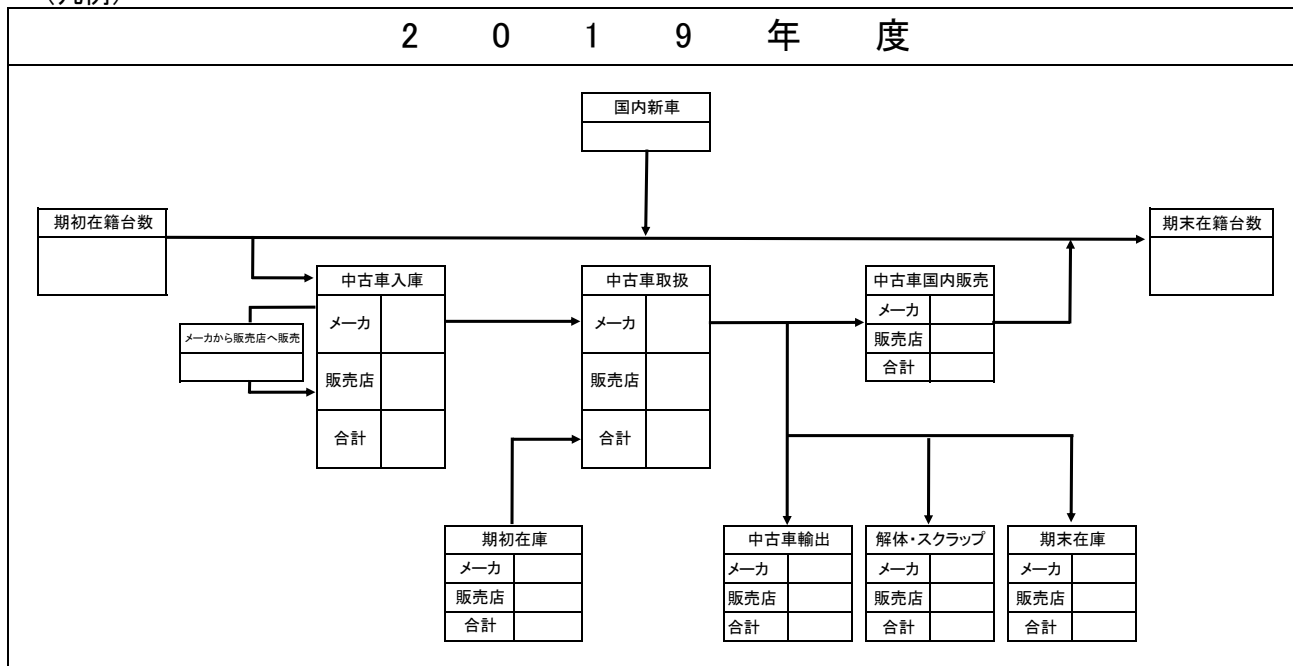
⑦国別輸出台数(ラフテレーンクレーン)



(出所:財務省貿易統計)

4.中古車の流通経路と市場特性

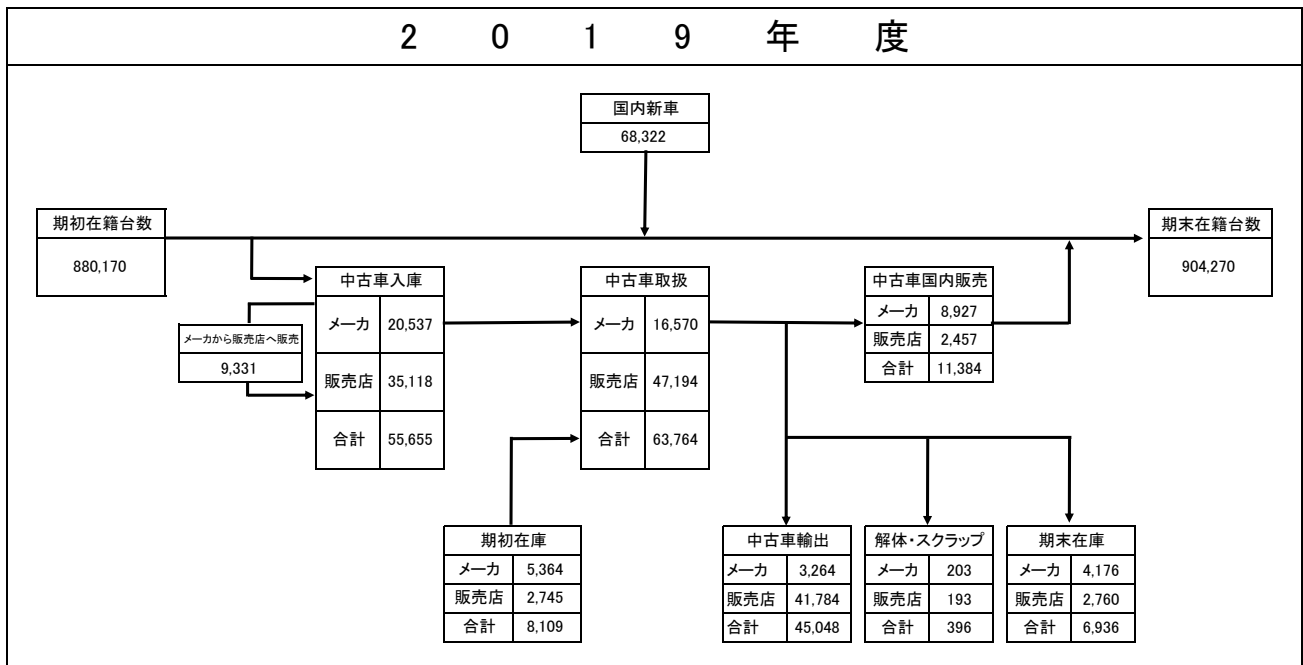
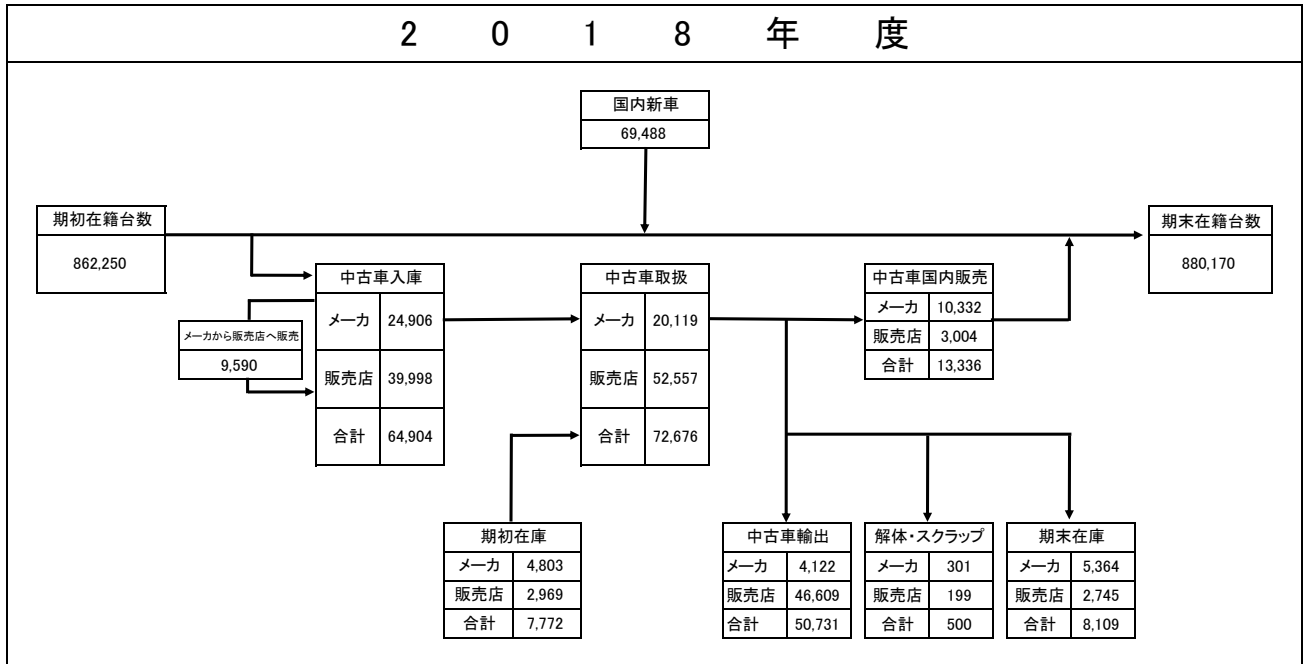
(凡例)



1. 国内新車台数は、当工業会統計をもとに算出した。
2. 中古車輸出合計台数は、財務省貿易統計をもとに算出した。
3. 各項内訳のメーカー部は、当工業会に所属する主要約22社より調査回答をもとに算出した(調査票は別添)。
4. 各項内訳の販売店部は、独自に推計した。

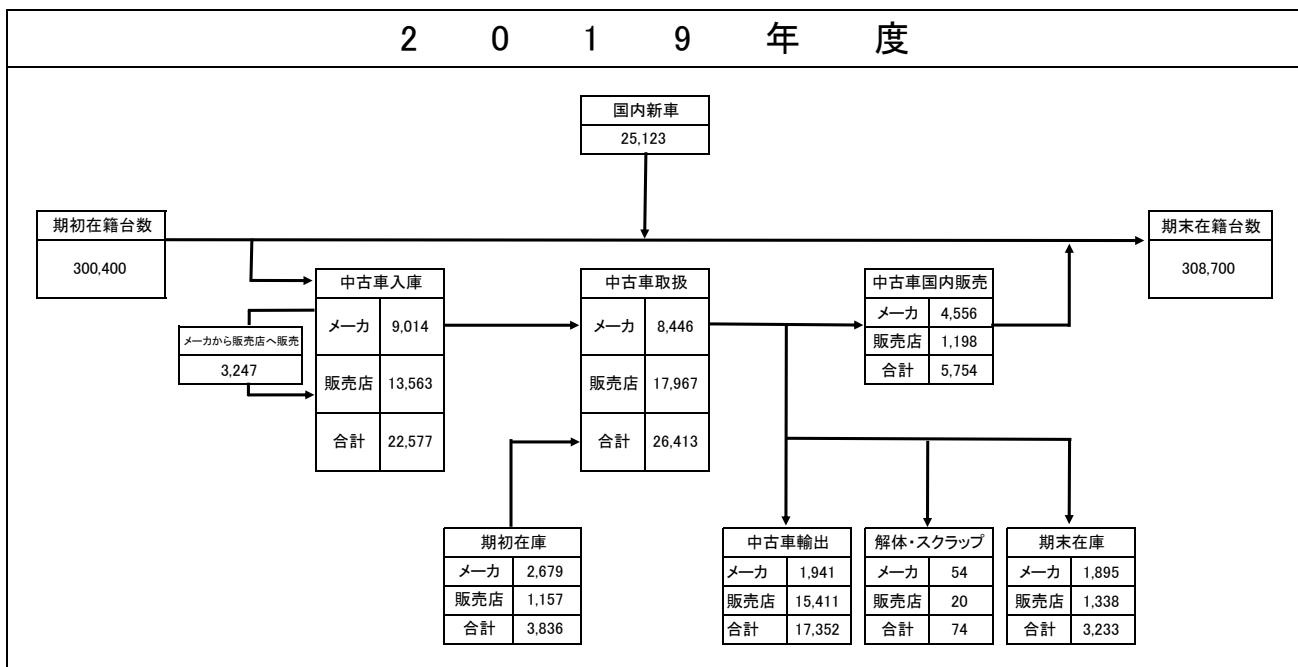
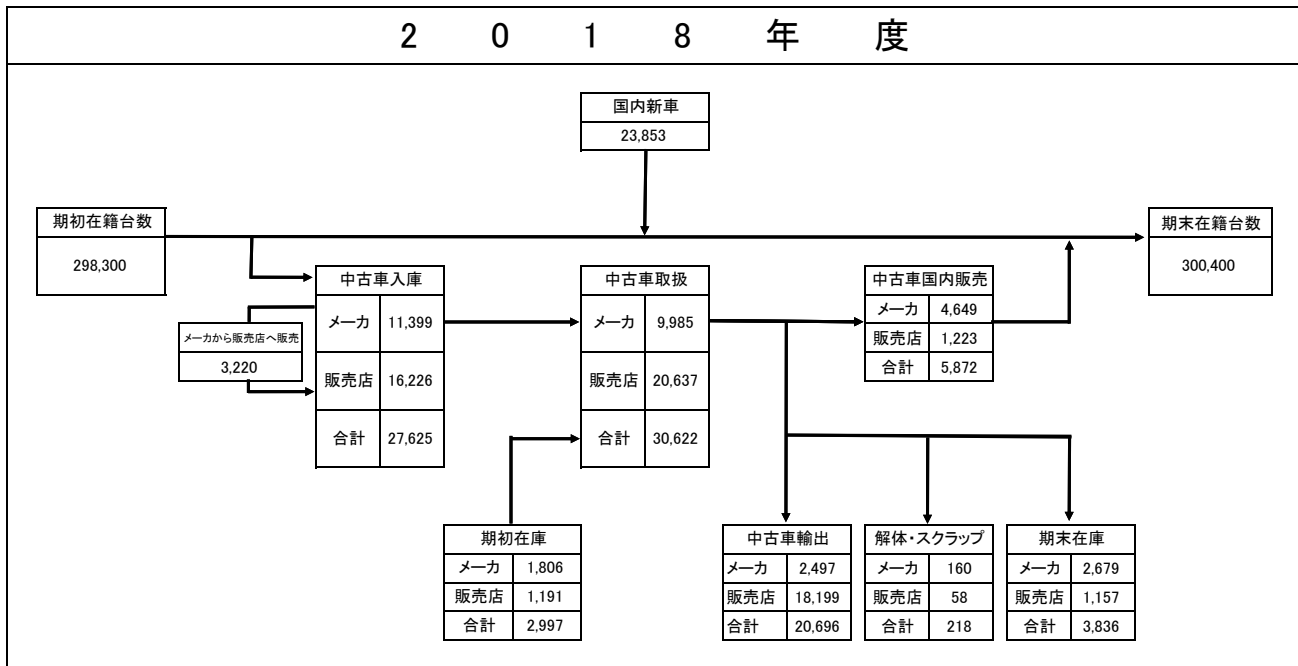
※2013年度末分をもって、クローラクタの調査を終了。

(1)合計(油圧ショベル+ミニショベル+ホイールローダ+クローラクレーン+ラフテレーンクレーン)



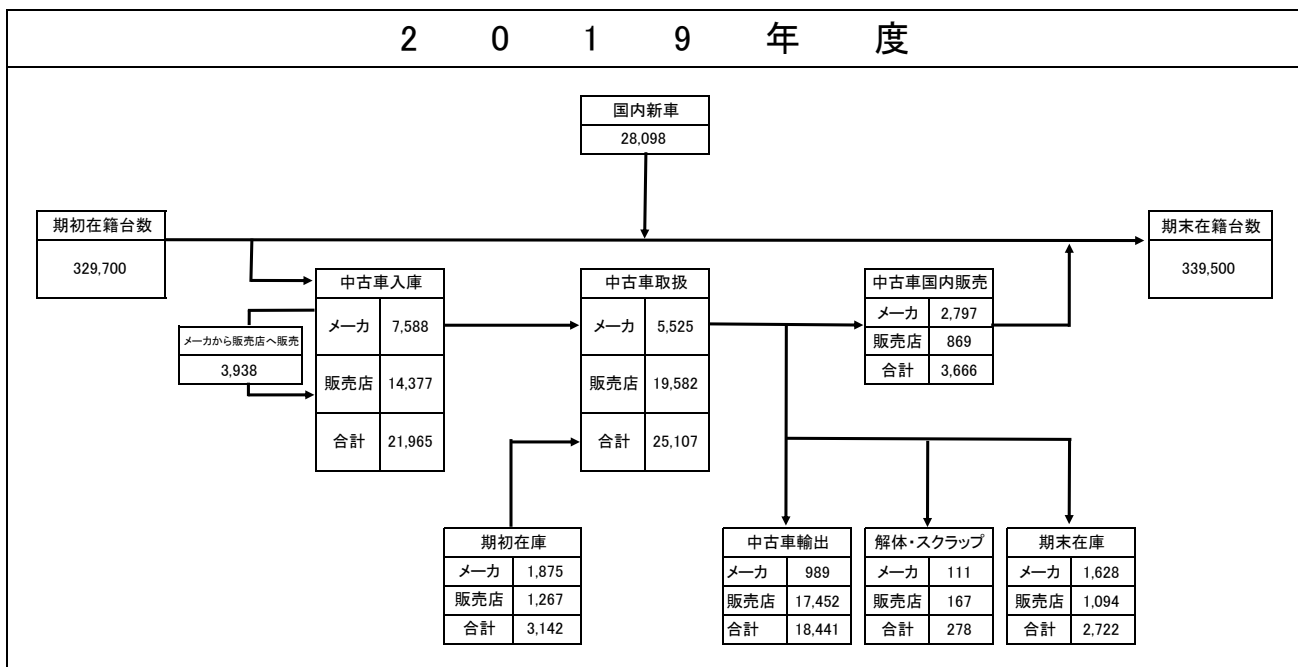
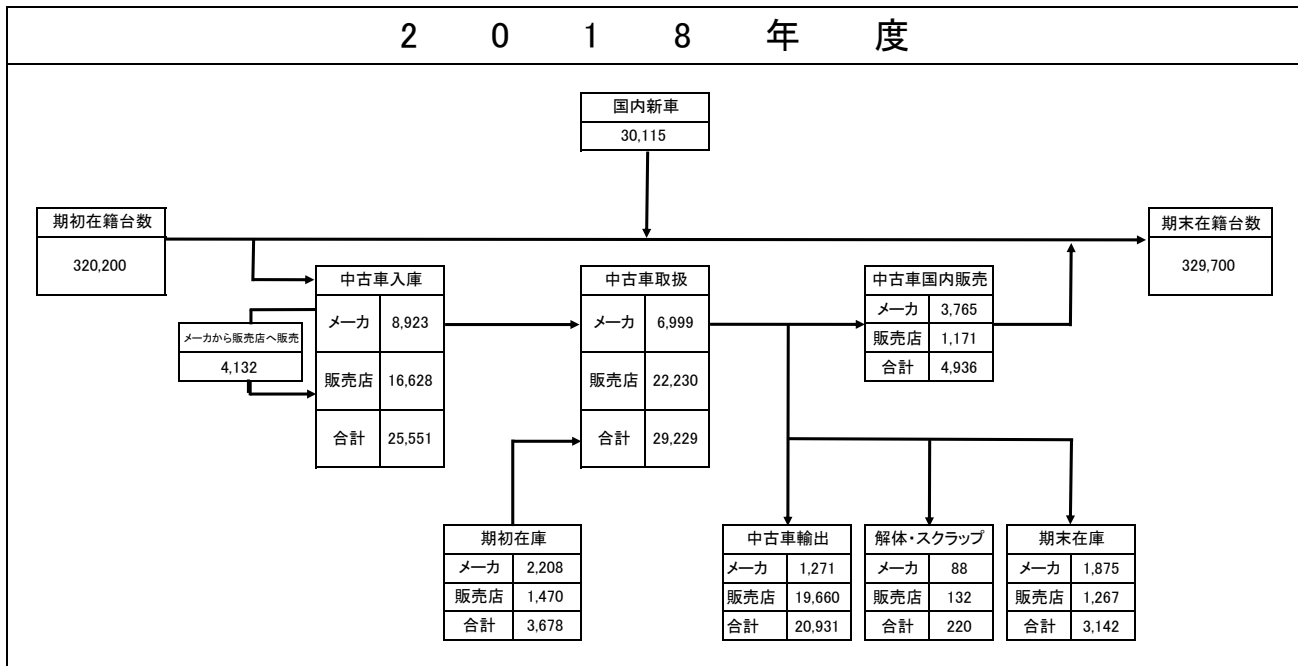
※ 2017年度より、油圧ショベルの在籍台数見直しの見直し等により増加。

(2)油圧ショベル(中古車流通経路)



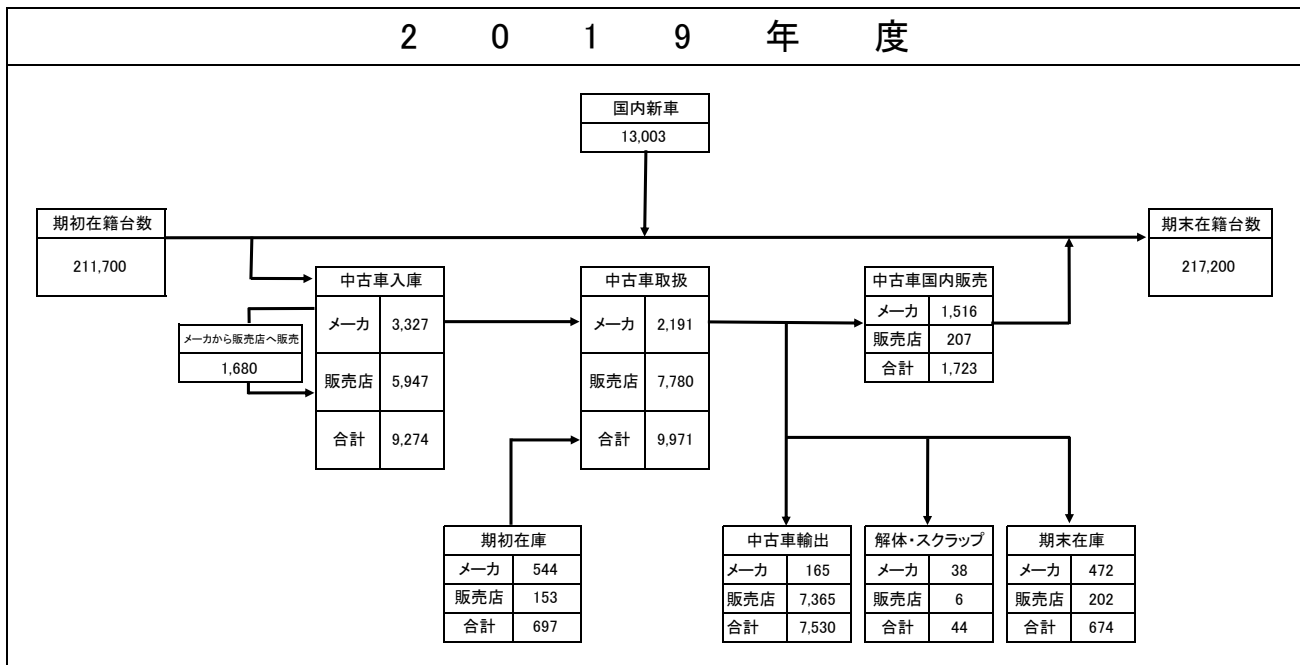
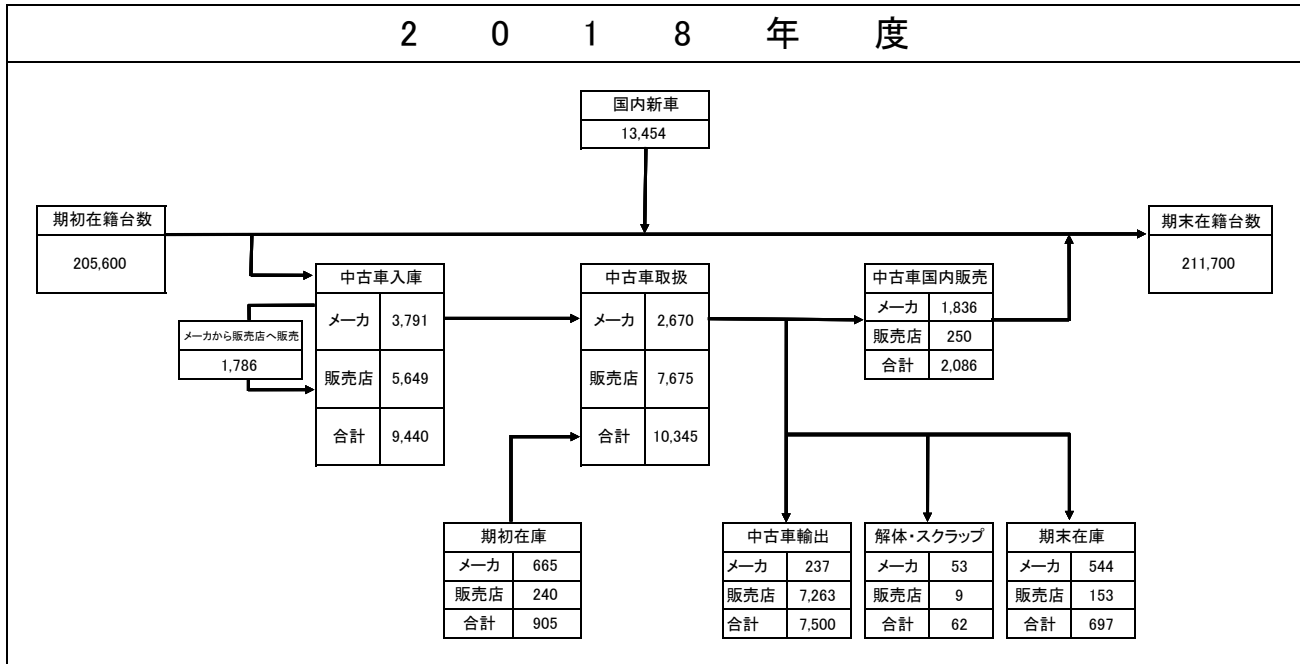
※ 2017年度より、油圧ショベルの在籍台数を見直し。
 2019年度の油圧ショベルの中古車発生量は、22,577台と前年比18.3%減少した。
 国内需要は前年度比-2.0%となる5,754台、海外需要は前年度比-16.2%となる17,352台となった。
 2019年度の輸出総量17,352台の輸出先は構成比順に中国・香港(25.6%)、ベトナム(22.9%)、その他南西アジア(11.6%)となっている。

(3)ミニショベル(中古車流通経路)



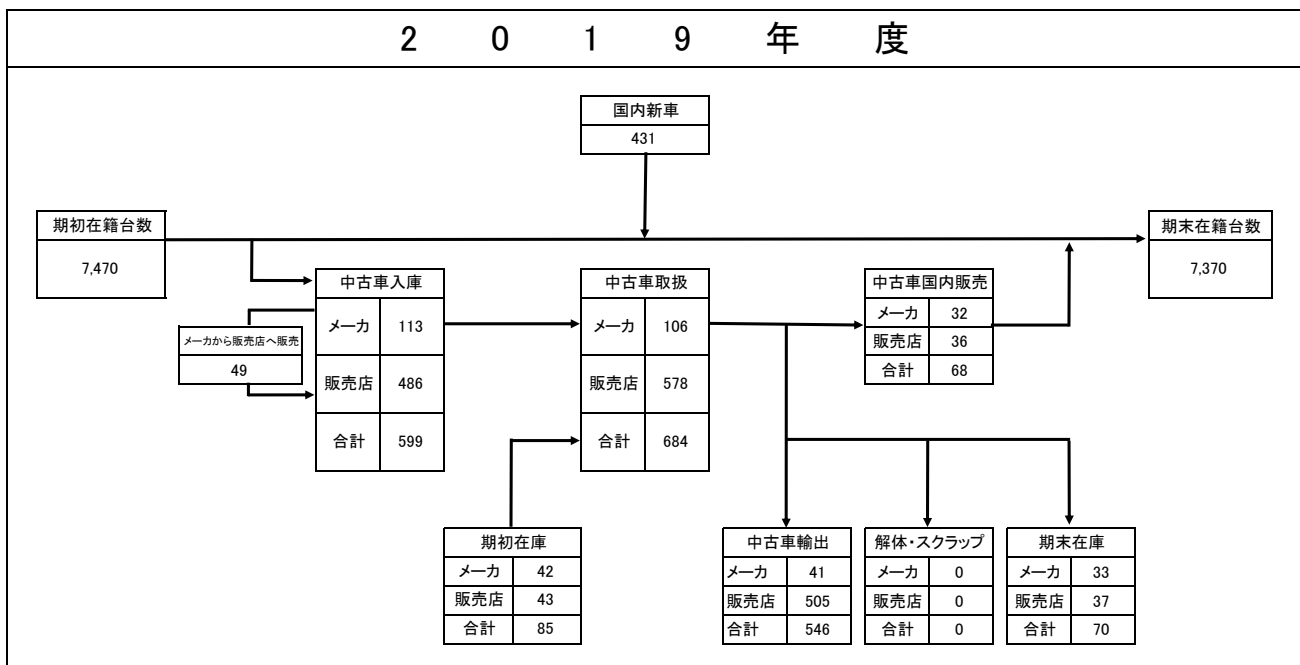
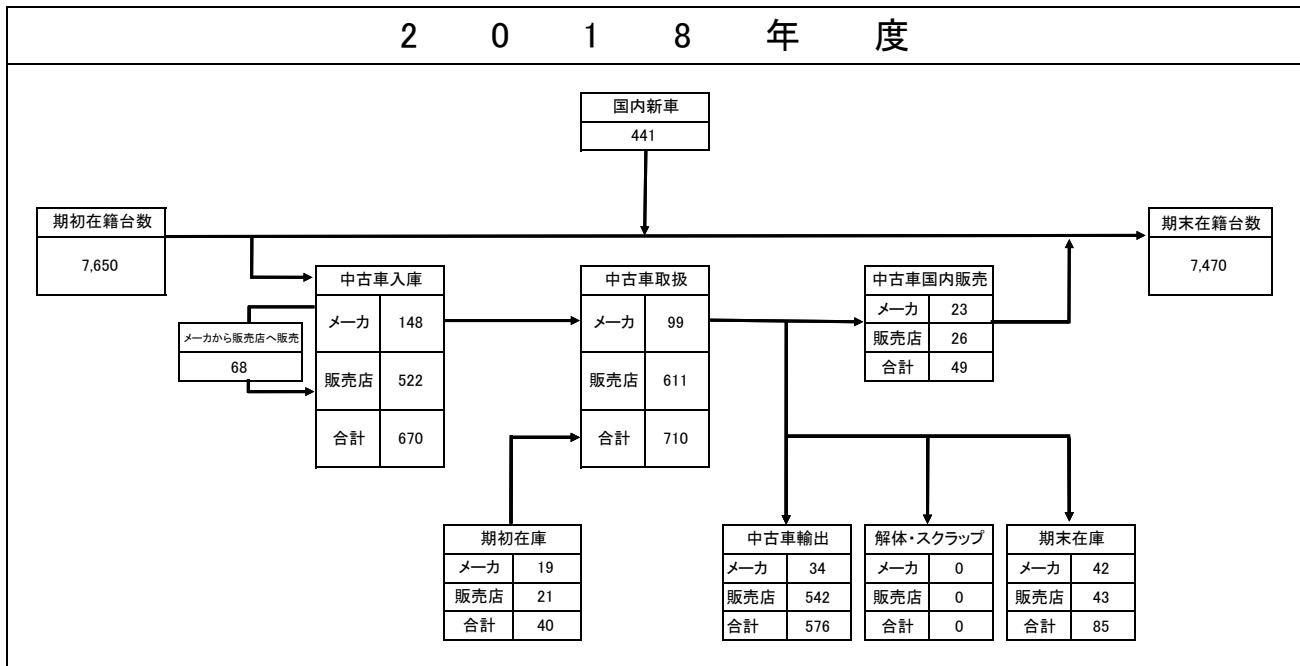
2019年度のミニショベルの中古車発生量は、21,965台と前年比14.0%減少した。
 国内需要は前年度比-25.7%となる3,666台、海外需要は前年度比-11.9%となる18,441台となった。
 2019年度の輸出総量18,441台の輸出先は構成比順にベトナム(28.7%)、中国・香港(14.4%)、タイ(10.9%)となっている。

(4)ホイールローダ(中古車流通経路)



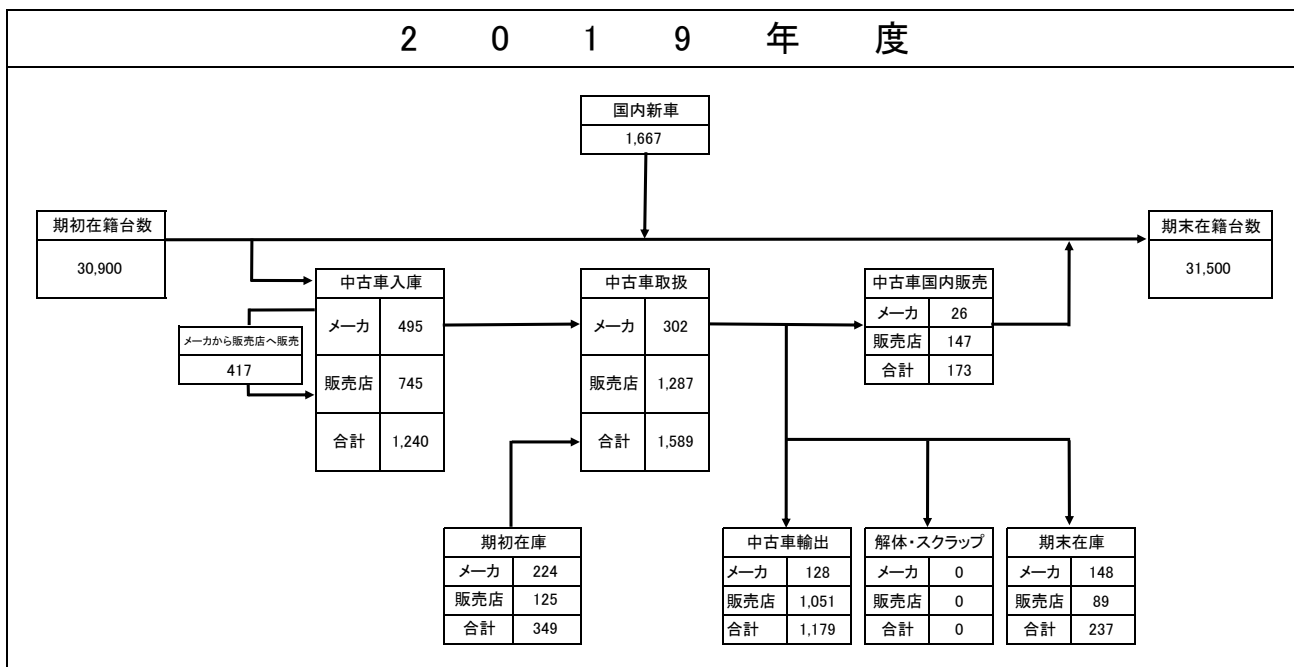
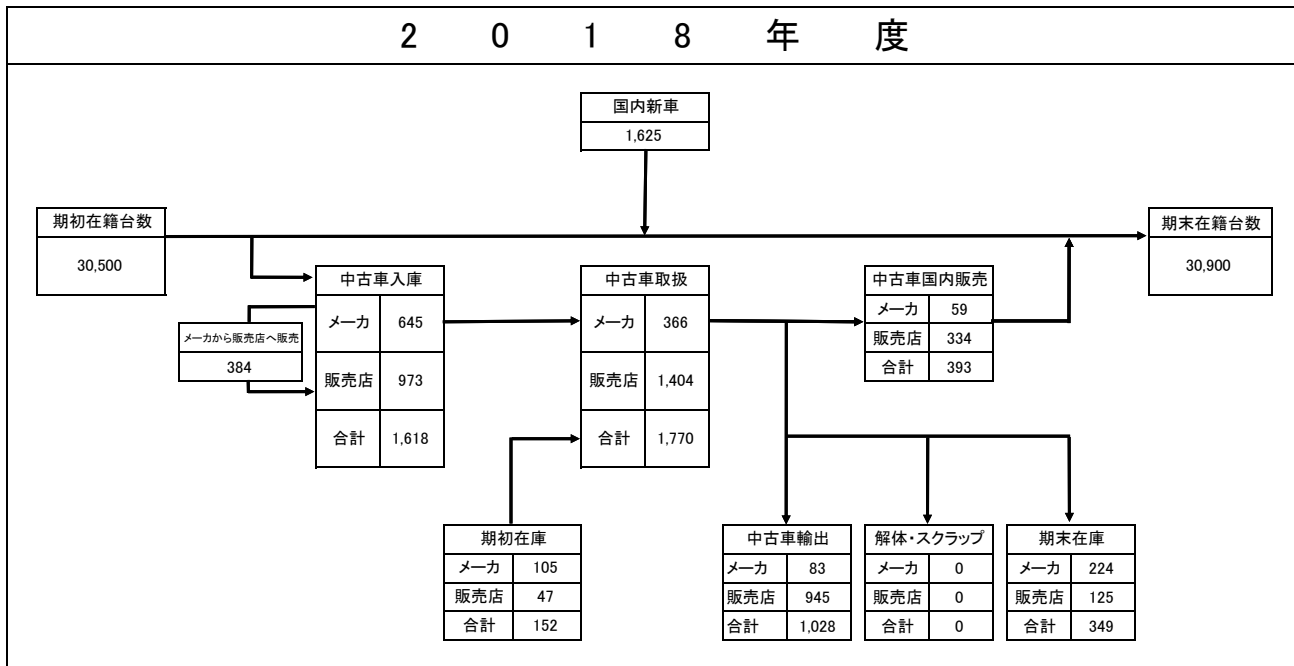
2019年度のホイールローダの中古車発生量は、9,274台と前年比1.8%減少した。
 国内需要は前年度比-17.4%となる1,723台、海外需要は前年度比+0.4%となる7,530台となった。
 2019年度の輸出総量7,530台の輸出先は構成比順に中近東(35.9%)、ベトナム(13.3%)、フィリピン(11.5%)となっている。

(5)クローラクレーン(中古車流通経路)



2019年度のクローラクレーンの中古車発生量は、599台と前年比10.6%減少した。
 国内需要は前年度比+38.8%となる68台、海外需要は前年度比-5.2%となる546台となった。
 2019年度の輸出総量546台の輸出先は構成比順にベトナム(34.8%)、台湾(11.9%)、フィリピン(11.5%)となっている。

(6)ラフテレーンクレーン(中古車流通経路)



2019年度のラフテレーンクレーンの中古車発生量は、1,240台と前年比23.4%減少した。
 国内需要は前年度比-56.0%となる173台、海外需要は前年度比+14.7%となる1,179台となった。
 2019年度の輸出総量1,179台の輸出先は構成比順にタイ(25.8%)、フィリピン(20.7%)、インドネシア(13.8%)、となっている。

提出: 年 月 日

一般社団法人日本建設機械工業会 事務局 御中
建設機械中古車販売・流通量実態調査票(系列中古車販売店を含む)

会社名:
作成者:
TEL:
MAIL:

項目		ホイール ローダ	油圧式 シヨベル (ホイール含む)	クローラクレーン 機械式/油圧 (3PDオーガ含む)	トラック クレーン (油圧式)	ラフテレーン クレーン	ミニシヨベル (ホイール含む)	搭乗式 ローラ	高所 作業車
総中古車在庫台数 2019年4月～2020年3月【各社製品】 (メーカー本体+系列中古車販売店)					-			-	-
エンドユーザーへ販売した中古車台数					-			-	-
中古車販売店(非系列)へ 販売した中古車台数					-			-	-
メーカー直輸出した中古車台数					-			-	-
解体部品取り・スクラップ					-			-	-
2020年3月末の在庫数					-			-	-
2020年3月末現在 国内在籍(稼働)台数【自社製品のみ】			-				-		

は記入不要です。

自社製品国内在籍(稼働)台数について、備考事項があればご記入ください(計算方法が昨年と異なる等)。